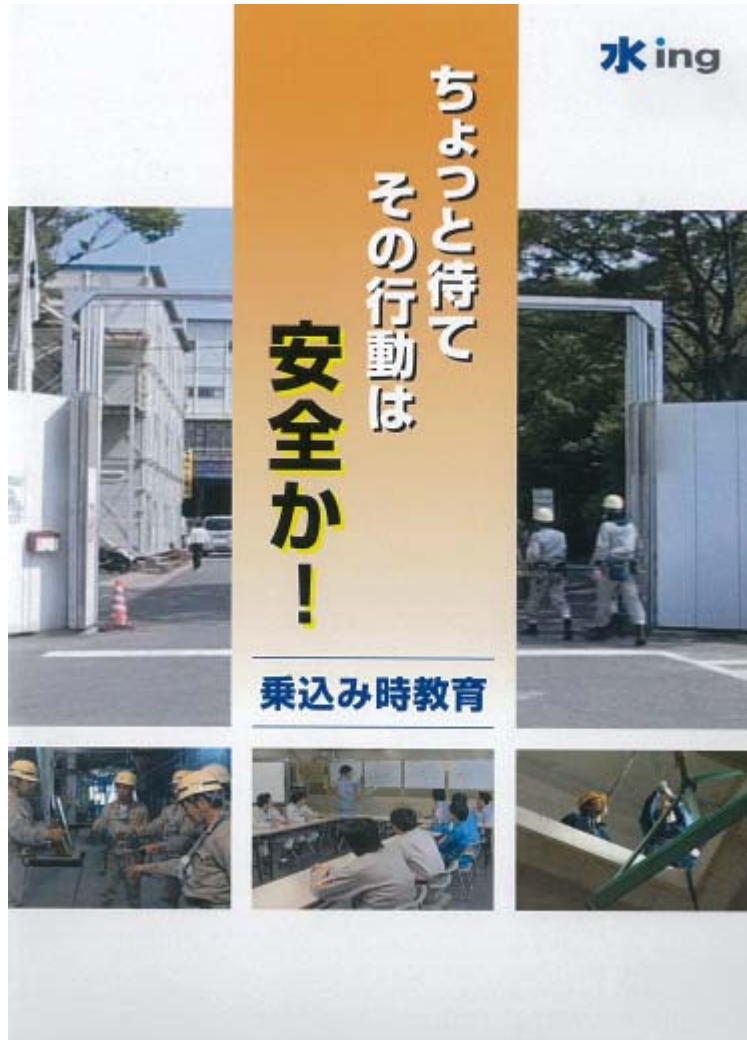


工事現場における安全衛生推進対策の見える化

乗込み時教育用DVD:

「ちょっと待て その行動は 安全か」

「オレンジリボン」
にこめた思い



「安全・環境・品質作業手帳」
による教育、危険予知活動

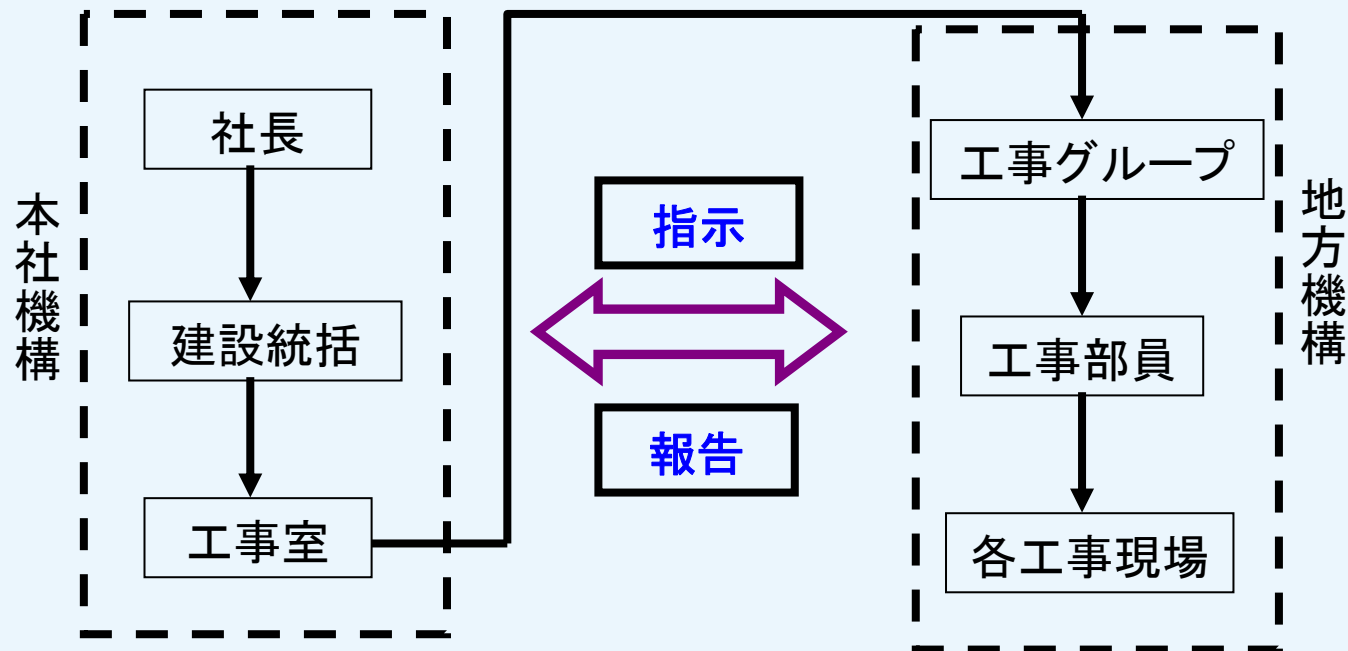


当社は、37の支店・営業所・事務所や出張所があり、約300の拠点を運営、維持管理を実施しています。また、グループ企業とも連携し、全国各地で幅広い水総合事業のサービスを展開しています。

建設工事、修繕工事の現場の数も年間延べ1,000件を超え、ピーク時は150件超／月の大小さまざまな工事現場が稼働しています。

多くの拠点があるため、全稼働現場での統一的な安全衛生推進対策に、様々な方法を用いて実施しております。そこで今回は、「工事現場における安全衛生推進対策の見える化」について、紹介いたします。

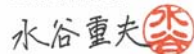
年度初めに社長より出される全社安全衛生管理方針を基に、建設統括・工事室・工事グループとブレイクダウンされ、現場においては現場作業所長の安全衛生管理方針によって、安全衛生管理の運営を行っています。



安全衛生管理方針、計画を社内イントラネットに掲示し、いつでも確認が可能なように見える化しています。

2013年度 安全衛生管理方針

水ing 株式会社
代表取締役社長



「安全衛生が何ものにも勝る」安全文化の醸成を図り、「安全」「健康」「快適」で安心して健康に働くことが出来る職場環境の形成を目指す。

1. 安全衛生管理目標

- (1) 安全衛生管理体制の確立と周知
- (2) 死亡、重大災害ゼロ
- (3) 安全配慮義務、使用者責任の完遂

2. 重点実施事項

- (1) 安全衛生管理規程の遵守
- (2) リスクアセスメント実施の強化
- (3) 安全・衛生週間、強調期間等の趣旨周知と実施
- (4) 健康管理対策の実施
- (5) 快適職場環境の形成

2013年度 安全衛生管理計画

2013年 4月

水ing 株式会社

安全衛生管理方針	「安全衛生が何ものにも勝る」安全文化の醸成を図り、「安全」「健康」「快適」で安心して健康に働くことが出来る職場環境の形成を目指す。													備考
1. 安全衛生管理目標	(1)安全衛生管理体制の確立と周知 (2)死亡、重大災害ゼロ (3)安全配慮義務、使用者責任の完遂													
2. 重点実施事項	実施内容・管理・確認方法等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
安全衛生管理規程の遵守	安全衛生委員会、安全衛生会議等の実施 ・安全衛生管理方針、目標、計画の周知 ・会議等の定期開催、本社・支店の採択を通じた労働災害等の未然防止													
リスクアセスメント実施の強化	災害・事故に対する予防安全教育及び再発防止・類似災害防止教育 ヒヤリハット活動、危険予知活動の推進による危険感受性の向上 橋脚・水害等緊急訓練における危険情報(浸水リスク情報)の提供の基盤作り													
安全・衛生週間、強調期間等の趣旨周知と実施	全国安全週間：実施報告書による確認 6月準備月間、本週間7月1日～7日 ・安全衛生に関する全従業員意識の向上 全国労働衛生週間：実施報告書による確認 9月準備月間、本週間10月1日～7日 ・業務内容、部門間の人員交流、未熟者等の状況にあわせて安全衛生教育の実施 年末年始労働災害防止強調期間：実施報告書による確認 12月1日より1月15日 年終末労働災害防止強調月間：実施報告書による確認 2月準備月間、本週間3月1日～3月31日 経営層による特別休暇													
健康管理対策の実施	定期健康診断100%受診 有所見者の再検診100%受診 特殊健康診断の受診(該当者) 放射線管理規程の遵守													
快適職場環境の形成	メンタルヘルスクアの増進、過重労働防止、受動喫煙防止													

計画: ☆ ←→ 実施: ★ ←→

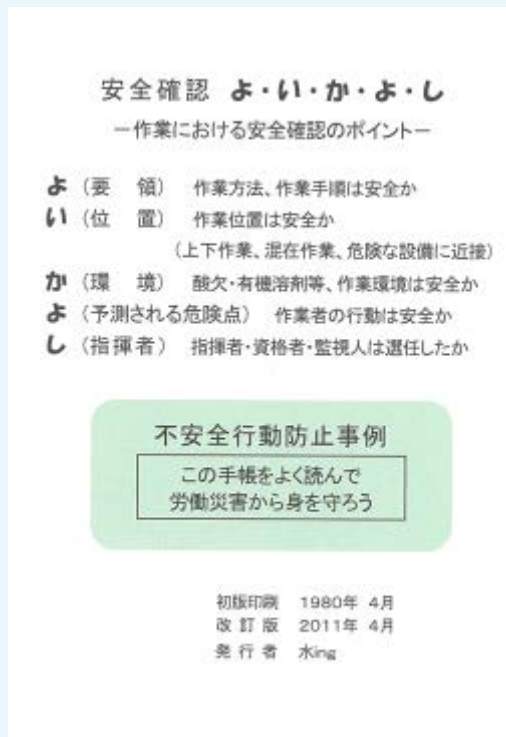
水ing(株)の安全衛生活動 現場業務に必要な技量の習得

- 教育**
- 1、安全衛生に関する教育
 - 2、施工・品質に関する教育
 - 3、各種法令に関する教育

当社・・・「特定元方事業者の安全衛生管理」
協力会社・・・「事業者としての安全衛生管理」
を実施していくことを目標としております。

「安全・環境・品質作業手帳」による見える化

：手帳には当社の過去の災害事例等、当社独自の内容が記載されており、**現場の作業員の皆さん一人ひとりに見える化**を図っています。現場乗込み教育時に配布し、教育を行います。この手帳は、毎日TBM、KYK(危険予知活動)の時にも、その日の作業に該当するページの読み合わせをします。ポケットサイズで持ち運びも自由です。



目次	
はじめに	2
当現場での就業規則・危険点等	3
安全施工サイクルの注意事項	4
業種別 危険・有害・爆発作業環境	5
事故発生時の行動	6
一般心得	7
リスクアセスメント	8
指差喚呼(1人KY)	14
指差喚呼(1人KY)の要領	15
安全服装・保護具	16
整理・整頓・清掃・清潔・躰(5S)	17
掘削作業	18
車両系建設機械作業	19
通行・運搬・荷役作業	20
クレーン等の作業	21
玉掛け作業	22
上下作業・共同作業	23
開口部付近の作業	24
足場上での作業	25
ローリングタワー、棚・吊り足場での作業	26
脚立使用時の注意	27
梯子使用時の注意	28
電気設備・電気工具の取扱い	29
アーク溶接作業	30
粉じん作業	31
火災・爆発	32
高温物等、危険・有害物等との接触	33
有機溶剤作業	34
酸素欠乏等危険場所の作業	35
酸素欠乏等危険場所作業手順例	36
試運転作業	38
停電作業における必要な措置	39
工事現場で発生した事故例	40
多発する物損事故等	43
ヒヤリハット事故報告	44
試運転等に関する事項	46
環境保全	54
品質管理	62

「オレンジリボン」には、「ちょっと待て その行動は安全か」と記載してあります。当社で働く人は皆、このオレンジリボンを付け、「ちょっと待って」、「その行動は本当に安全なのか？」を考えます。これも乗込み教育時に配布します。
当社の安全文化のベースの部分を見える化しています。

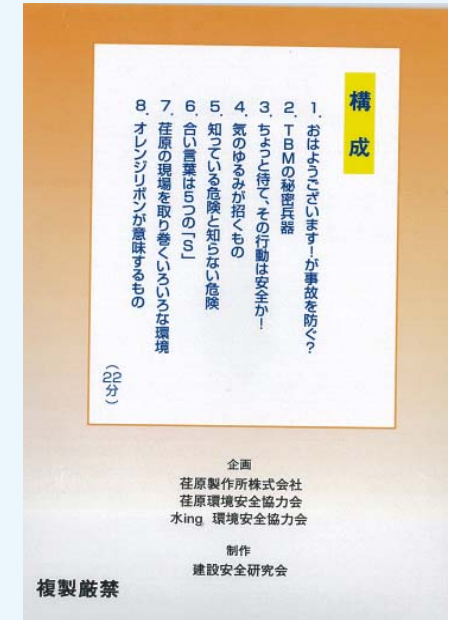
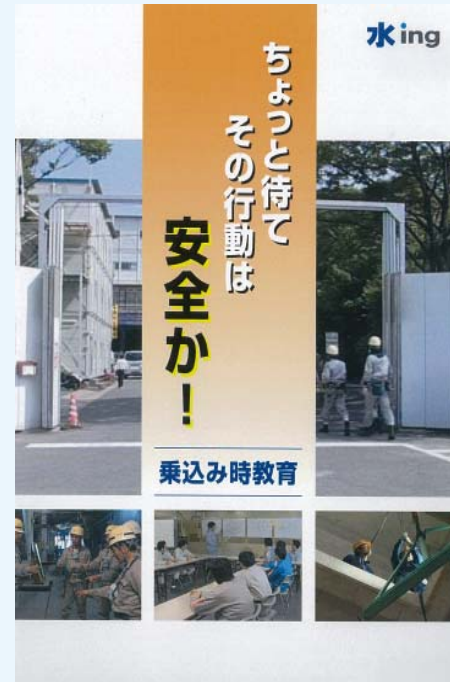


朝礼時の一例



乗込み時教育用DVD: 「ちょっと待て その行動は 安全か」

内容は、当社の工事現場でのロケーションも含み、当社特有の物となっています。
プラントメーカーとしての特有の環境を含め、一日の安全施工サイクルの中で、今回縁有って新しく入場してきた方に、どんな小さなケガもして欲しくない事、又、一人ひとりがかげがえのない人、との思いを込めて製作したものです。



当社特有の内容、 当社の現場で働く人 への思いの見える化

3. 作業間の調整等

「安全日誌(事業者用)／工事施工計画届」は、2枚複写になっており、事業者用の作業計画書兼安全日誌となっています。作業前日に施工業者より翌日作業計画として提出してもらい、当社にて内容を確認し作業の許可を出します。

→ 翌日作業計画の見える化

年 月 日 () 作業分		安事全工日画誌		一次会社名: グループ名:	会社名	作成者		確認				
作業場所	作業内容	人数	作業上の危険点(予測)・KY	可能性	重大性	評価値	危険度	左記の安全衛生対策	対策実施 危険度	使用する 保護具	指揮者、資格者等の氏名	確認 特元
							X = =>					
元方管理												
自社設備等始業時点検		KYシート(作業当日の危険予知)		作業者名		私たちがこうする(安全衛生対策)		貸与される設備等使用面		1		
設備・機器	点検予定者	結果						設備名 / 貸与者	許可			
								/	/			
								/	/			
								/	/			
(重要な危険点がTBMで出たか特元で確認すること)												
作業手続(※危険有害工事は別途「安全作業計画書」作成)		1人KY-指差喚呼項目		特定元方事業者の指示		3		指示の内容		4		
								●作業場所、作業時間、作業範囲				
								●機械等(クレーン等)の制限				
								●設備等(作業機台等)の使用制限				
								●上下作業禁止、立入禁止場所				
								●作業区、開口部				
								●安全通路(足場昇降口等)				
								●資格者、指揮者の選任				
								●資材搬入時期・場所、重量				
								●作業環境測定、保護具				
現場巡視結果、指示事項(実施日時、場所)		朝礼・TBM指示内容(作業日)		不安全行動防止指示(TBM)		作業者確認(サイン)		安全環境品質手帳(該当作業)読み合わせ		P : P :		
								P : P :				
								P : P :				
								P : P :				

年 月 日 () 作業分		工事施工計画届		一次会社名: グループ名:	会社名	作成者		確認				
作業場所	作業内容	人数	作業上の危険点(予測)・KY	可能性	重大性	評価値	危険度	左記の安全衛生対策	対策実施 危険度	使用する 保護具	指揮者、資格者等の氏名	確認 特元
							X = =>					
元方管理												
自社設備等始業時点検		KYシート(作業当日の危険予知)		作業者名		私たちがこうする(安全衛生対策)		貸与される設備等使用面		1		
設備・機器	点検予定者	結果						設備名 / 貸与者	許可			
								/	/			
								/	/			
								/	/			
(重要な危険点がTBMで出たか特元で確認すること)												
作業手続(※危険有害工事は別途「安全作業計画書」作成)		1人KY-指差喚呼項目		特定元方事業者の指示		3		指示の内容		4		
								●作業場所、作業時間、作業範囲				
								●機械等(クレーン等)の制限				
								●設備等(作業機台等)の使用制限				
								●上下作業禁止、立入禁止場所				
								●作業区、開口部				
								●安全通路(足場昇降口等)				
								●資格者、指揮者の選任				
								●資材搬入時期・場所、重量				
								●作業環境測定、保護具				
事業者によるパトロールの確認		朝礼・TBM指示内容(翌日計画)		不安全行動防止指示(TBM)		特元確認(当日)		安全環境品質手帳(該当作業)読み合わせ		P : P :		
								P : P :				
								P : P :				
								P : P :				
(当日指示した事項等を記入する)												

3. 作業間の調整等

安全衛生・環境・品質日誌・現場チェックリスト : 作業前日の調整・指導事項及び作業当日の安全衛生・環境・品質記録 → 特定元方事業者の構ずべき措置の見える化

安全衛生・環境・品質日誌・現場チェックリスト 作業当日、午前中作業終了時頃 [資料27] 戻る

貴先名 限
 工事番号 J.N-000000 2011年 11月 10日 作業分
 打合せの要領 2011年 11月 9日 打合せ
 《安全衛生》
 1. 協力会社の翌日作業(個々の作業)について(よい・か・よし)で安全衛生を確認する。
 2. 作業内容に対して、リスクアセスメントを実施し、リスク評価(A~E)を行う。
 3. 安全対策・指示事項は、耐えられるリスク以下にする。又、懸存リスク(D以下)を明確に使用者及び事業者等に指示し、安全措置項目を記入する。
 4. クレーン・建設機械等の使用時は、規定の用紙で作業計画を作成すること
 5. 作業間調整用平面図は別紙にて作成のこと
 《環境》 環境に関する指示事項を具体的に記入する
 《品質》 品質に関する指示事項を具体的に記入する 注意！当該様式をパソコン等で一括作成しないこと。ノ施工体験によっては、1次会社による2次会社の作業間調整をしなければならない。また、事業者間の業務連携を踏まえ当該チェックリストの使用も可能です。

会社名	水ing	A177	B鉄橋	C機械	D工業			
サイン	田中	a	b	c	d	各自筆サイン		

よ	要領	作業方法・作業手順は適切か。危険はないか
い	位置	作業場所の危険(上下作業・温存作業・危険な設備に近接)はないか
か	環境	酸欠・有機溶剤・騒音・振動等、対策は十分か
よ	予想される危険点	作業者の行動に危険はないか
し	指揮者	指揮者・監督者・監視人は選任されているか

施工会社	施工場所	職種	出庫		作業内容	リスク評価	安全対策・指示事項	使用建設機械	監視結果 (確認時刻)	環境対策・指示事項	品質対策 指示事項	
			予定	実績								
興A177 [B鉄橋]	エアタンク立上 メンテナンス	監督	1	1	施工管理	A → D	①足場の組立時、作業時共に、上部分や手掴みから安全帯を常時取る事。 ②中さん、巾木(10cm以上)取付、積載荷重表示等を忘れない事(点検済活用)	無し	9:50	槽内換気 →9:00確認		
		検査	1	1	ロープクレーン(肉筒類)組立、材料架付、配管架付		③セゴートも重荷物。揚げ降ろしは、専用ロープで実施する事。 ④揚げ降ろし時は、下方の危険範囲はバリケード立入禁止表示を行う事。 ⑤セゴート、配管取付時は、常時手順に安全帯を掛けて作業する事。 ⑥入槽者の管理票をエアタンの出入りに設置し、出入り管理をさせる事。		10:00			
		監督者	5	4						9:30		
C機械(空) [D工業]	総洗管取 終洗管取	監督	1	1	施工管理	A → D	①ロープクレーンの安全点検、積載荷重を覚えること。 ②人を載せたままの移動を絶対にしないこと。 ③インマードリルの始業前点検の変換 ④アンカー打設時の防じんマスク、保護ゴーグルの使用、有機溶剤作業の徹底 ⑤ロープ一部に当たっても周囲を移動する行為は絶対に禁止し周知徹底のこと。 (共通) ⑥持込工具類は、9:15から点検確認を行うので、各社の点検、リスト等の準備は怠らないようにしておくこと。	無し	8:50			
		検査	1	1	浮遊がきき等点検バツクリ架付				8:45			
		機械工	5	5					9:00	掃除機等で吸引し、粉じんを発生させないこと。 カミメカ等の使用 期限の確認9:05	持込確認9:15	
水ing(株)		監督	1	1								
合計			15	14								

8:40~9:10 総洗管内監視:設備、工具類の点検状況確認。
9:15~D社持込工具類点検実施。チェックアウト外れ止め不良品は不許可とした。その他は許可。
9:30~10:15 A177監視:環境測定結果異常無し。入槽者管理票の適正使用確認

教
育
議
事
会
・
打
合
せ

8:00~8:10 ラジオ体操、朝礼:A177入槽前の環境測定、換気、開口部管理について指示。各槽内、粉じん飛散防止指示。
その他チェックリストの内容指示伝達確認。
8:10~8:25 TBM:危険予知活動:安全手帳読合せ確認(A、B社p22、25 C,D社p16、33)。(※詳細は、添付 工事施工計画書による)
D社へ、TBM・KYKが職長の一方的な伝達になっていたため、全員参加の意味、必要性について指導。

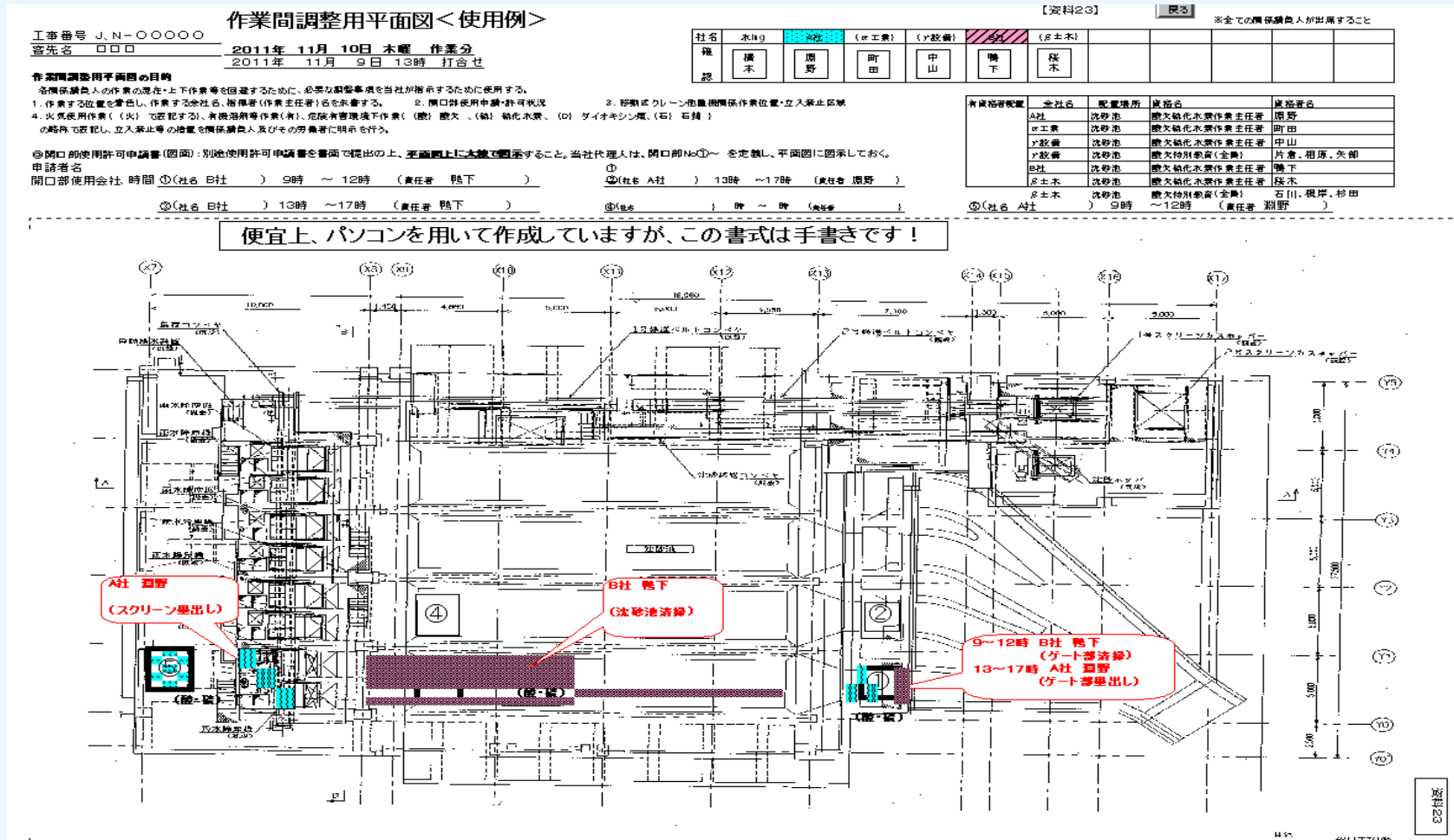
[資料27]

3. 作業間の調整等

作業間調整用平面図

：作業前日に関係請負人全てが同席し、作業間調整を行います。

→ 作業間の連絡及び調整、重機等の配置の見える化



1. 安全衛生管理方針、計画

トップの方針と計画をイントラネットに公開し、全社に周知して見える化を図っています。

2. 安全衛生活動(教育)

安全・環境・品質作業手帳、オレンジリボン、乗込み時教育用DVD等、当社独自のツールにより見える化を図り、活動しています。

3. 作業間の連絡・調整等

- ・「工事施工計画届」による翌日作業計画の見える化
- ・「作業間平面調整図」、「安全衛生・環境・品質日誌・現場チェックリスト」作業間連絡調整、重機等の配置等の見える化を図り、これらをP→D→C→Aの安全施工サイクルに乗せ、労災ゼロから危険ゼロを目指し、現場の安全衛生推進活動を行っています。